

シンポジウム

「見えにくい貧困をいかに可視化させて報道するか」

21世紀に入り、日本社会で「貧困」が顕在化し、メディアの報道テーマとなっていることから、上智大学メディア・ジャーナリズム研究所では「貧困報道」に焦点を当てたシンポジウムを開催します。

政治や行政の政策課題として「子どもの貧困」等の実態調査や解消策が急務と言われるなか、個々のジャーナリストはどのような問題意識と方法で報道しているのか。行政との連携はどこまで進んでいるのか。インターネットで個人情報暴露・拡散されてしまう環境で当事者をどう守るのか。実生活を伝える従来型ルポとデータをどう組み合わせるのかなど、報道の側が向き合う「課題」を貧困の研究者も交えて発展的な議論を展開したいと考えています。

日時：6月11日 午後15時～17時30分

場所：上智大学 2号館 17階 国際会議室（2-1702）

主催：上智大学メディア・ジャーナリズム研究所

第1部（15時～16時15分） 「貧困は当事者だけの問題か」

パネリスト

首都大学東京／阿部 彩

朝日新聞／錦光山 雅子

読売新聞／原 昌平

毎日放送／奥田 雅治

第2部（16時30分～17時30分） 「見えない貧困を可視化させるには」

パネリスト

首都大学東京／阿部 彩

日本放送協会／板垣 淑子

朝日新聞／錦光山 雅子

読売新聞／原 昌平

毎日放送／奥田 雅治

上智大学／小此木 潔

（第1部・第2部）モデレーター／上智大学 水島宏明

入場：無料

問い合わせ先：上智大学メディア・ジャーナリズム研究所（担当・水島）

03-3238-4154 メールアドレス：djourn@ Sophia.ac.jp